# 沖縄地方の天候

2018年 (平成30年)6月

平成30年7月2日 沖縄気象台

天候経過(月のまとめ) ・・・・・・・・1
天候経過(旬別)・・・・・・・・・・2
大気の流れ(北半球の天気図の概要)・・・・・3
日々の天気図(午前9時)・気象概況 ・・・・・・4
地上気象 気象経過図 那覇・名護・久米島・南大東(南大東島)・・・・ 6 宮古島・石垣島・西表島・与那国島・・・・・・7
アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間) 分布図 ・・・・・8
極値・順位値更新表(月)、生物季節観測表・・・・・9

本件担当:沖縄気象台 地球環境・海洋課 お問い合わせ先:098-918-4012

# 天 候 経 過 (月のまとめ)

#### 【6月】

上旬から中旬は、梅雨前線や湿った空気、台風第5号、第6号の影響で曇りや雨の日が多く、下旬は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

平均気温は、全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年差は+0.7℃と高かった。降水量は、与那国島で平年を大幅に上回り、地域平均平年比は120%と多かった。奥で月降水量693.0mmとなり、6月としての極値を更新した。日照時間の地域平均平年比は102%と平年並だった。

なお、沖縄地方は6月23日ごろに梅雨明けしたと見られる(※)。平年と同じで、昨年より1日遅い 梅雨明けとなった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

				· · · · · · ·			- 1 H W 1		
	平均気温	平年差	階	降水量	平年比	占	日照時間	平年比	階
	$(\mathcal{C})$	$(\mathcal{C})$	級	(mm)	(%)	級	(h)	(%)	級
那覇	27.8	+1.0	++	218.5	88	0	171.7	105	0
名 護	27.4	+0.7	+	343.5	141	+	164.8	105	0
久 米 島	27.5	+0.7	+	256.5	97	0	183.0	112	+
南大東島	27.2	+0.6	+	183.0	98	0	217.9	102	0
宮古島	27.8	+0.6	+	185.0	100	0	184.4	96	0
石垣島	28.5	+0.5	+	202.5	98	0	203.4	97	0
西表島	27.9	+0.5	+	295.5	149	+	178.8	89	0
与那国島	28.0	+0.5	+	358.0	218	++	184.0	101	0
沖縄地方	*******************	+0.7	+	######################################	120	+	******************	102	0

- (注)1.「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
  - ++:かなり高い(かなり多い)、+:高い(多い)、0:平年並、
  - -:低い(少ない)、--:かなり低い(かなり少ない)
  - 2. 「降水量」欄の一は無降水を示す。
  - 3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の 5地点の平年差(比)の平均値を示す。
  - 4. ")"付きの値は準正常値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
  - 5. "7"付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
  - 6. "X"は欠測を意味する。
  - 7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。
  - 8. 平年値の統計期間は1981~2010年である。

(※)速報値。気象予測をもとに行う梅雨明けの速報とは別に、梅雨の季節が過ぎてから、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行う。そこで検討した梅雨明けの確定値は、9月以降に気象庁ホームページや「2018年の沖縄地方の天候」(2019年1月発表)等において公表する。

# 天 侯 経 渦 (旬別)

#### 【6月上旬】

沖縄地方は梅雨前線や湿った空気、台風第5号の影響で曇りや雨の日が多く、3日は沖縄本島地方や先島諸島で大雨となった所があった。

沖縄地方の平均気温はかなり高く、降水量は平年並で、日照時間は多かった。

	平均気温	平年差	階	降水量	平年比	階	日照時間	平年比	階
	$(\mathcal{C})$	$(^{\circ}\!C)$	級	(mm)	(%)	級	(h)	(%)	級
那覇	27.3	+1.9	++	30.5	29	-	49.4	117	+
名 護	27.0	+1.9	++	36.0	39	-	50.8	120	+
久 米 島	26.8	+1.4	++	47.5	48	-	55.9	127	+
南大東島	27.0	+1.7	++	57.0	61	0	67.8	129	+
宮古島	27.6	+1.6	++	85.5	86	0	57.6	115	+
石垣島	28.6	+1.7	++	21.5	21	-	63.6	116	+
西表島	27.8	+1.5	++	64.0	74	0	60.1	110	0
与那国島	27.9	+1.5	++	109.5	171	+	59.9	125	0
沖縄地方	***************	+1.6	++	****************	71	0	######################################	120	+

#### 【6月中旬】

沖縄地方は梅雨前線や低気圧、台風第6号などの影響で曇りや雨の日が多く、14日から16日にかけては、沖縄本島地方と先島諸島では荒れた天気となった所があった。16日は栗国では日最大1時間降水量103.0mm、日降水量288.0mmを観測、伊是名では312.0mmの日降水量を観測し、いずれも通年としての極値を更新した。また、奥、本部、国頭では日降水量の6月としての極値を更新した。

沖縄地方の平均気温は平年並で、降水量は多く、日照時間は少なかった。

	平均気温	平年差	階	降水量	平年比	階	日照時間	平年比	階
	$(\mathcal{C})$	$(\mathcal{C})$	級	(mm)	(%)	級	(h)	(%)	級
那覇	27.1	+0.3	0	162.5	152	+	44.4	96	0
名 護	26.5	-0.2	0	307.0	270	++	34.1	79	0
久 米 島	26.6	-0.1	0	209.0	167	+	40.6	93	0
南大東島	26.8	+0.2	0	121.0	172	+	55.4	85	0
宮古島	27.2	-0.1	0	76.0	125	+	41.3	73	-
石 垣 島	27.7	-0.3	-	169.0	210	+	38.6	63	-
西表島	27.2	-0.3	-	222.5	329	++	29.3	52	
与那国島	27.0	-0.6	-	244.0	385	++	28.6	54	-
沖縄地方	*****************	-0.2	0	**********************	208	+	*******************	76	-

#### 【6月下旬】

沖縄地方は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、湿った空気や台風第7号の 影響で曇りや雨となる日もあった。

沖縄地方の平均気温は高く、降水量と日照時間はともに平年並だった。

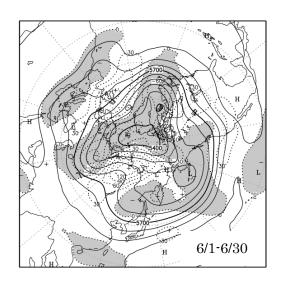
	平均気温	平年差	階	降水量	平年比	階	日照時間	平年比	階
	$(\mathcal{C})$	$(^{\circ}\!\mathbb{C})$	級	(mm)	(%)	級	(h)	(%)	級
那覇	28.9	+0.7	+	25.5	71	0	77.9	104	0
名 護	28.8	+0.6	+	0.5	1	-	79.9	112	0
久 米 島	29.0	+0.8	++	0.0	0		86.5	114	+
南大東島	27.9	0.0	0	5.0	22	0	94.7	98	0
宮古島	28.6	+0.3	0	23.5	91	0	85.5	99	0
石垣島	29.3	+0.3	0	12.0	52	0	101.2	111	+
西表島	28.8	+0.4	0	9.0	20	0	89.4	101	0
与那国島	29.0	+0.5	+	4.5	12	-	95.5	118	+
沖縄地方	****************	+0.5	+	***********************	45	0	*******************	109	0

表の(注)は、前頁と同様

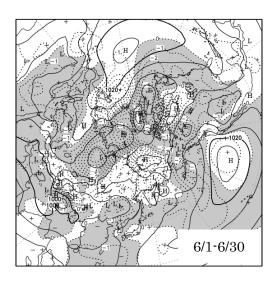
# 大気の流れ(北半球の天気図の概要)

2018年6月

500hPa 面の平均高度(左図)は、日本の南東海上で平年より高かった。 平均海面気圧(右図)は、日本の南西海上で平年より低い領域が広がっており、低気圧や台風第5号、第6号、第7号の接近、梅雨前線が停滞したことに対応している。下旬は、沖縄付近は梅雨前線の南側に入り、太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

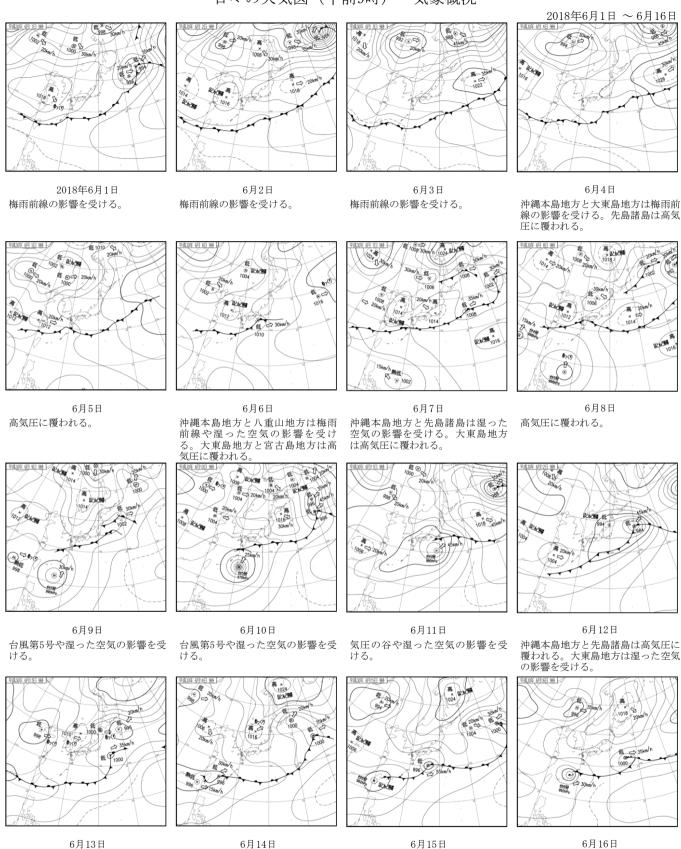


左図 北半球の500hPa面の平均高度 等値線の間隔は実況(実線)が60m、 平年差(破線)が30mである。 陰影部は高度が平年より低い領域を示す。



右図 北半球の平均海面気圧 等値線の間隔は実況(実線)が4hPa、 ある。 平年差(破線)が1hPaである。 す。 陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

## 日々の天気図(午前9時)・気象概況

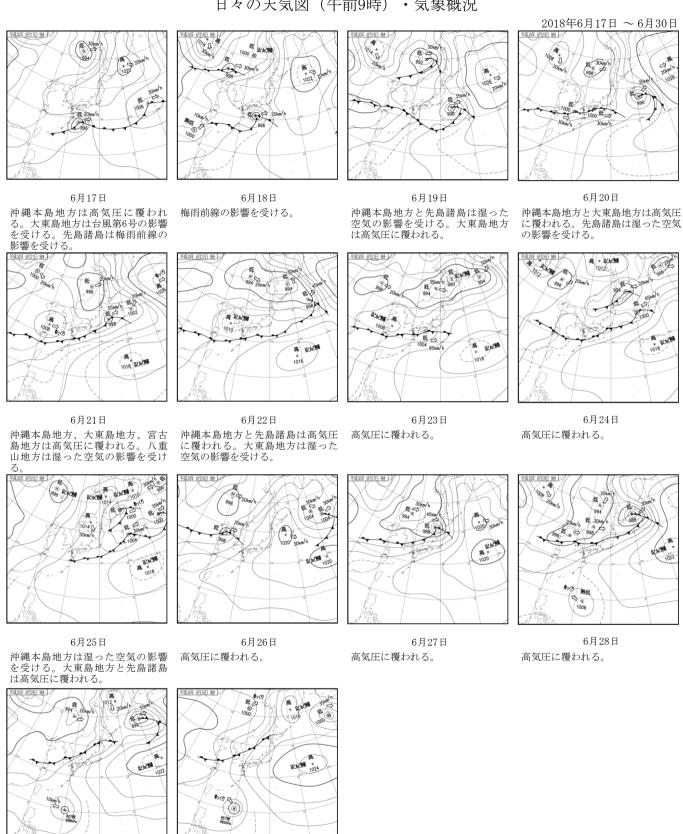


梅雨前線や低気圧の影響を受け

沖縄本島地方と大東島地方は高気

圧に覆われる。先島諸島は梅雨前 線や湿った空気の影響を受ける。 沖縄本島地方と大東島地方は梅雨 台風第6号や梅雨前線の影響を受け前線の影響を受ける。先島諸島は る。 台風第6号の影響を受ける。

#### 日々の天気図(午前9時)・気象概況

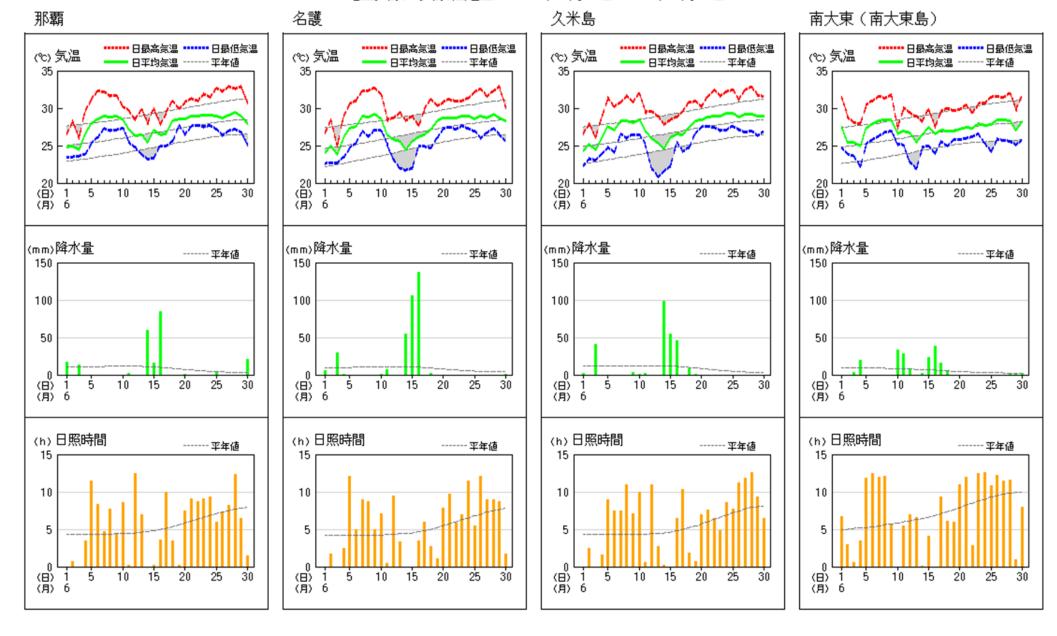


沖縄本島地方、大東島地方、宮古 島地方は湿った空気の影響を受け る。八重山地方は高気圧に覆われ る。

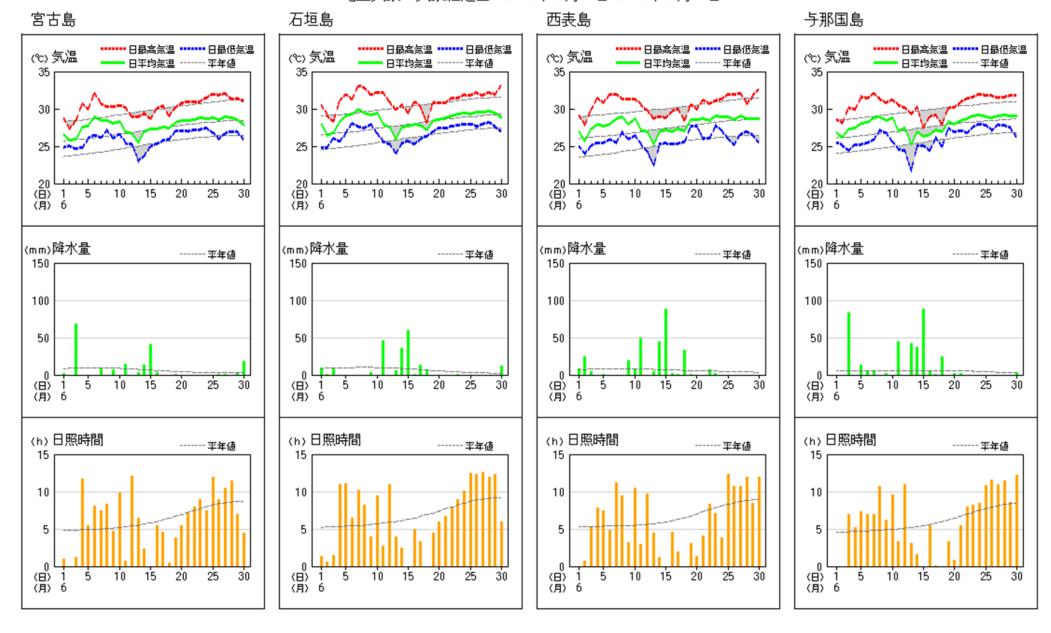
6月29日

6月30日 台風第7号と湿った空気の影響を受 ける。

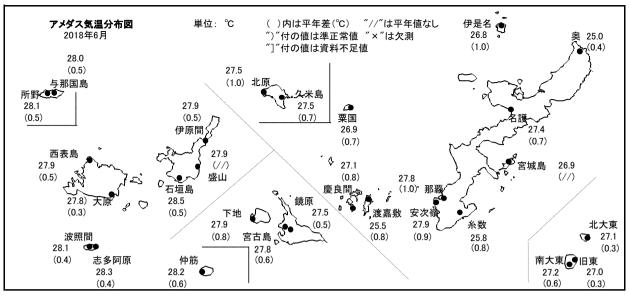
## 地上気象 気象経過図:2018年06月01日-2018年06月30日

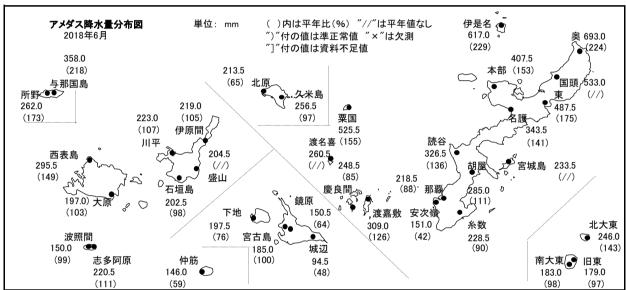


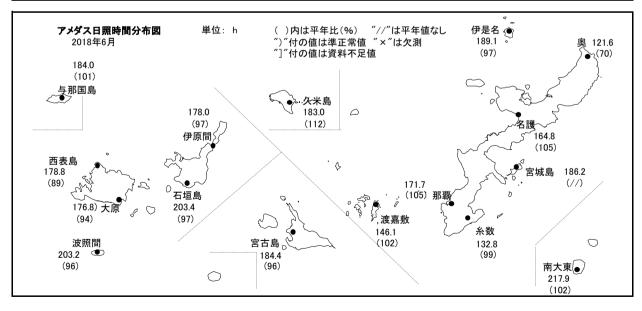
# 地上気象 気象経過図:2018年06月01日-2018年06月30日



#### アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図







• 統計期間が短いため、平年値が無い地点があります。

## 極値·順位値更新表(月)

地上気象観測所 2018年6月

地点名	要素	更新した値	観測日 (月)	順位	極値(観	測日・月)
与那国島	月降水量の多い方から (mm)	358. 0*	2018年6月	2	396. 0	1970年6月

注1:日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載しています。

注2:1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3:\*印は下位と同値(タイ記録)を意味します。

#### アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日 (月)	順位	極値(観	測日・月)
伊是名	日降水量 (mm)	312. 0	2018年6月16日	1	207	1998年6月15日
奥	日降水量 (mm)	237. 0	2018年6月16日	1	199	1998年6月15日
国頭	日降水量 (mm)	198. 5	2018年6月16日	1	197. 5	2017年6月14日
本部	日降水量 (mm)	206. 0	2018年6月16日	1	195. 0	2017年6月14日
粟国	日降水量 (mm)	288. 0	2018年6月16日	1	165	2005年6月16日
所野	日最大風向・風速 (m/s)	北西 18.4	2018年6月15日	1	北西 17.0	2013年6月5日
奥	日最大風向・風速 (m/s)	東北東 13.7	2018年6月16日	1	東北東 13.2	2012年6月18日
下地	日最大1時間降水量 (mm)	60.0	2018年6月11日	1	48	2006年6月18日
伊是名	日最大1時間降水量 (mm)	84. 0	2018年6月16日	1	84	2000年6月12日
奥	日最大1時間降水量 (mm)	86. 0	2018年6月16日	1	65	1976年6月26日
国頭	日最大1時間降水量 (mm)	69. 5	2018年6月16日	1	49	2006年6月18日
栗国	日最大1時間降水量 (mm)	103. 0	2018年6月16日	1	55. 0	2016年6月26日
奥	月降水量の多い方から (mm)	693. 0	2018年6月	1	683	1998年6月

注1:日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点は除いています。

注2:1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3:\*印は下位と同値(タイ記録)を意味します。

注4:降水量の統計単位は2008年3月26日から全ての地点について、1mmから0.5mmに変更しました。

#### 生物季節観測表

2018年6月

\$8 JBIT 18 GC	種別 (代替種目)	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現	最早目	旦.06.口			
観測場所	種 別 (代替種目)	児家	月日	月日	月 日	平年差	取平口	最晚日			
(1) 植物	(1) 植物										
宮古島	サルスベリ	開花	6月14日	6月22日	6月19日	-8	5月20日	7月23日			
石垣島	サルスベリ	開花	6月18日	5月31日	6月10日	+18	4月29日	7月18日			
南大東島	サルスベリ	開花	6月25日	5月30日	7月3日	+26	4月22日	7月3日			
(2)動物	1										
那覇	アブラゼミ (リュウキュウアブラゼミ)	初鳴	6月6日	6月8日	5月25日	-2	5月23日	6月28日			
那覇	クマゼミ	初鳴	6月12日	6月22日	6月27日	-10	6月7日	7月13日			
石垣島	クマゼミ (リュウキュウクマゼミ)	初鳴	6月12日	6月7日	6月24日	+5	5月1日	6月26日			
那覇	ニイニイゼミ(クロイワニイニイ)	初鳴	6月18日	6月3日	5月30日	+15	5月2日	6月25日			

注:平年差の"-"は発現が平年に比べて早く、"+"は発現が平年に比べて遅いことを示します。